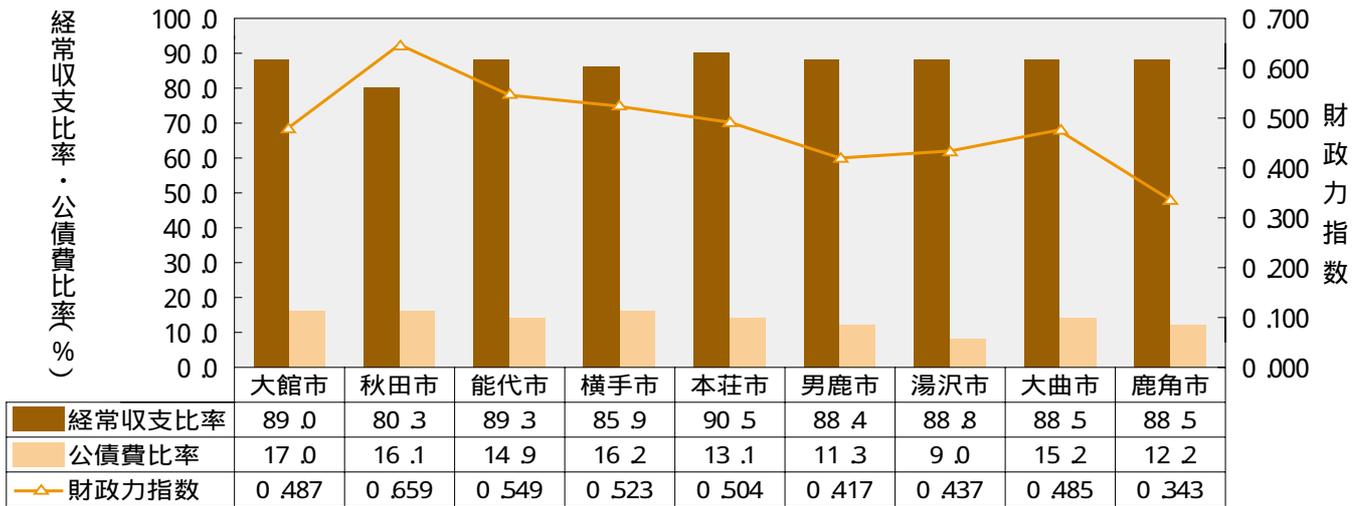


県内各市の財政指標 (平成15年度決算)



経常収支比率

(県内の市の平均: 87.7%)

人件費、扶助費、公債費といった義務的経費に対し、市税や地方交付税などの一般財源がどのくらい支出されているかを示したものです。その比率が低いほど弾力的な財政運営ができていとされています。

公債費比率

(県内の市の平均: 13.9%)

平均的な水準で行政を行った場合の歳入規模に対する公債費(過去に借りた借金の返済金)の割合で、借入額の妥当性や財政の弾力性を見る指標であり、低いほど財政に弾力性があるとされています。

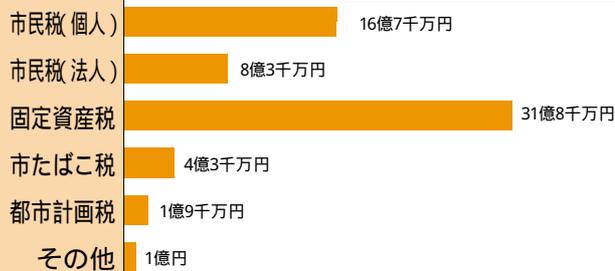
財政力指数

(県内の市の平均: 0.489)

平均的な水準で行政を行った場合に要する経費に対する自主財源(市税など)の割合を示したものです。「1」に近いほど財源に余裕があり、数値が低いほど国からの地方交付税に依存しているとされています。

一般会計の決算内訳

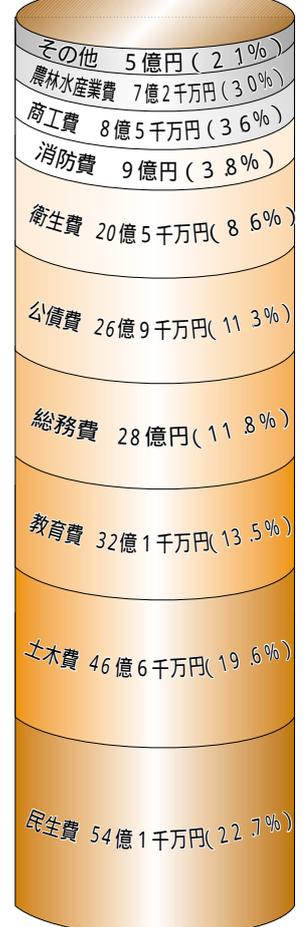
市税の決算額



歳入 242億7千万円

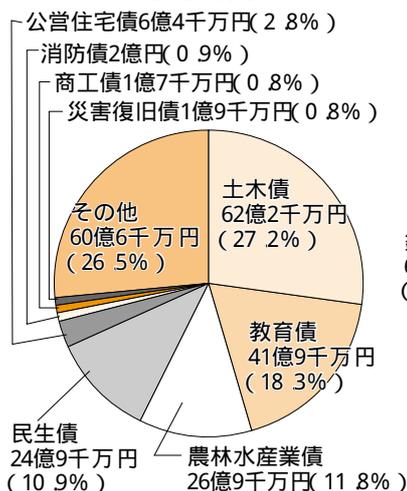


歳出 237億9千万円



市債の状況 (平成16年3月31日現在 残高228億5千万円)

目的別残高



借入先別残高

